

# NEWSLETTER

# No.56

6 January 2014

・2013年地理学教室の行事記録	・・・・・・1
・第13回地理ワークショップの開催	・・・・・・2
・2013年度国土館大学地理学会夏季巡検報告	・・・・・・3
・2013年度地理実習の記録	・・・・・・5
・卒業論文公開口頭試験について	・・・・・・9
・2013年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・・10
・2014年日本地理学会春季学術大会について	・・・・12
・国土館大学地理学会費の納入について	・・・・13

## 【2013年地理学教室の行事記録】

1月 6日	世田谷の歴史地理巡検（岡島）
1月 29日	国土館地理学会東京下町巡検（長谷川）
2月 6日～8日	2012年度卒業論文公開口頭試験
3月 2日～3日	福島農村実習（宮地）
3月 19日	学位記授与式
5月 3日～5日	福島農村実習（宮地）
5月 15日～16日	地理学野外実習A（1年生実習、川崎市麻生区黒川地区：専任教員全員）
5月 18日	野外生物観察会（生田緑地：磯谷）
6月 22日	野外生物観察会（鶴川：磯谷）
6月 8日	国土館大学地理学会（10号館 10329 教室） <総会> <講演会> 中山大地先生（本学非常勤講師）「自然地理 “+” 情報科学」 <懇親会> 1号館 1階学生ラウンジ
6月 28日	9月卒業論文公開口頭試験
7月 5日	築地市場巡検（宮地）
7月 31日～8月 1日	第13回社会科教員のための地理ワークショップ（10号館 10217 教室） <テーマ> 「私の大学授業紹介：大学教員の地理学教育の今」 （野口，磯谷，内田，岡島，加藤，宮地）参加者 16名
8月 2日～4日	学外実習（群馬県川場村：宮地）
9月 10日～12日	国土館地理学会巡検（京都府・滋賀県：岡島・宮地） 参加者 26名
9月 20日	9月卒業式
9月 20日～22日	福島農村実習（宮地）
10月 7日～8日	地理学野外実習B（2年生実習：専任教員全員）
10月 22日～25日	地理学野外実習C（3年生実習：専任教員全員）
12月 21日	国土館大学地理学会（10号館 10101 教室） <研究発表会> 吉村美咲，西本修司，米長知里，田所正敏， 川口拓也・吉田 真 <講演会> 高柳長直先生（東京農業大学）「地域ブランドと地理的表示」 <懇親会> 1号館 1階学生ラウンジ

## 【第13回地理ワークショップの開催】

「私の大学授業紹介：大学教員の地理学教育の今」  
社会科教員のための地理ワークショップ

地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、主として中・高の先生方を対象に、2001年度より「地理ワークショップ」を開催してきました。第13回にあたる今年度は、2013年7月31日（水）～8月1日（木）の2日間にわたって開催しました。以下、今回の地理ワークショップの趣旨について、日本地理学会をはじめとする各機関へ通知した趣旨説明文を転載します。

\* \* \* \* \*

今年のテーマは、これまでとはやや趣向を異にして開催しました。改めて「地理（学）とは何か」、「地理（学）は何を学び教えることが大切なのか」を考える内容にしました。小中高のそれぞれの教育課程で地理をはじめとする社会科、地理歴史科の授業を担当される先生方にとって「地理とは何か」という問題は、常に頭から離れない重要なテーマであると思われます。一方で、この問題は、地理学を学ぶ大学生にとっても、就職活動等で問われる重要な課題でもあります。さらに、私たち大学教員もまた、地理学の有用性を主張できなければ、地理学の存在価値を大学の「組織」や社会のなかで認めてもらえません。

したがって、私たちは今あらためて「地理（学）とは何か」という問題を考える必要があると考えました。私たち大学教員は地理学の様々な分野を専門としていますが、それらの教員がどのような授業を展開しながら、何を学生たちに伝えようとしているのか、どのような論点を配（考）慮しながら日頃の授業を行っているか、今回はその一端をご紹介しますと考えております。

\* \* \* \* \*

今回のワークショップは、16名の先生方にご参加いただきました。初めてご参加いただいた先生もいらっしゃいました。1日目から2日目の午前中にかけて、地理学教室の教員が、自身の担当科目のエッセンスを講じました。2日目の午後は、今回もワークショップ形式で地理教育の意義や方向性について議論しました。まとまった見解をえるまでにはいかなかったようにも思いますが、様々な意見が交換され有意義な時間だったように思います。また、1日目の夕方行われた交流会では、12名の先生方に参加いただき、現在の中学校や高等学校における社会科、地理教育の現状や問題点などについて意見交換できました。

ところで、今回のワークショップを開催するにあたっては、専攻の教員どうしてこのワークショップの存続可否やテーマ設定に対して相当な時間をかけて議論しました。このワークショップの目的やテーマ設定のあり方について、今後も折に触れて検討を続けていく予定にしています。また、地理・環境専攻で学ぶ学生のなかには、教員志望の学生も少なからずいます。今後、地理ワークショップを継続していく中で、教員志望の学生との関係づくりも課題であるように感じました。

### ◎プログラム

#### ◆第1日目：7月31日（水）

国士舘大学地理・環境専攻のカリキュラム紹介・・・・・・・・・・宮地 忠幸  
気候現象をいかに捉えるか・・・・・・・・・・野口 泰生  
地域景観と植生の見方・考え方・・・・・・・・・・磯谷 達宏  
旅と地理学の狭間で考えること：なぜ地理は人気がないのか？・・内田 順文  
キャンパス周辺でみる景観から地理を学ぶ・・・・・・・・・・磯谷 達宏・加藤 幸治  
交流会

#### ◆第2日目：8月1日（木）

身近な地域から地理を学ぶ：歴史地理学的に見る・・・・・・・・・・岡島 建  
経済は地域にどのように投影されているのか・・・・・・・・・・加藤 幸治  
アンケート結果の紹介・・・・・・・・・・宮地 忠幸  
ワークショップ：

「中学校、高等学校、大学における地理（学）教育の方向性」（グループ討論・全体討論）



写真1. 1日目の夕方に行われたミニ巡検



写真2. 2日目の講義の様子

【2013年度 国士舘大学地理学会夏季巡検（京都・滋賀巡検）報告】

2013年9月10日から12日の2泊3日で、国士舘大学地理学会の夏季巡検が京都府・滋賀県内にて実施されました（図1）。参加学生は、当初の予定を上回る計26名（1年生11名、2年生8名、3年生4名、4年生3名）で、引率は岡島建先生と宮地忠幸先生にお願いをしました。現地での移動には1日目は公共交通（地下鉄・路線バス）、2・3日目は貸切バスを利用しました。

2013年度 国士舘大学地理学会 夏季巡検行程表		
● 行	先	京都府京都市・宇治市、滋賀県大津市・草津市・粟東市・近江八幡市 方面
● 期	間	2013年9月10日(火)～2013年9月12日(木)《2泊3日》
● テ	マ	「京都盆地における京文化の諸相と歴史的景観」、「琵琶湖周辺地域の歴史的遺産と環境保全の取り組み」
● 行	程	(移動手段：地下鉄—— 路線バス—— 送迎バス(分乗)—— 貸切バス—— 徒歩——)
日次	月/日 (曜)	行程
1	9/10 (火)	京都駅11:55 ----- 駅ビル屋上[市内展望]12:20 ----- 京都駅(地下鉄) ----- 四条駅12:40 ----- 仏光寺通・烏丸通・錦市場・高瀬川(角倉了以顕彰碑)・先斗町・鴨川(三条大橋)14:00 ----- 三条京阪前(京都バス⑦乗り場)14:25 ----- 15:05 花尻橋 ----- 土井志ば漬本舗(工場見学) ----- 17:20 大原山荘 ■集合…12:00 京都駅西口改札前「時の灯(時計台)」(南北自由通路2階) *JR西HPで要確認! ■宿泊先…大原山荘 京都市左京区大原草生町17
2	9/11 (水)	大原山荘9:00 ----- 大原駐車場9:40 ■■[御池通・堀川通・油小路通・京都外環状線]■■ 10:20南禅寺駐車場 ----- 琵琶湖疏水記念館・インクライン ----- 南禅寺駐車場12:00 ■■[白川通・今出川通・川端通・仁王門通]■■ 12:50西大手筋バス停(西向き)・昼食(各自)13:40 ----- 月桂冠前・長建寺・伏見港公園・三栖閣門資料館・三栖閣門・寺田屋前 ----- 西大手筋バス停(西向き)15:20 ■■■ 15:40向島駅前 ----- 巨椋池堤防 ----- 向島駅前16:20 ■■■■■ 17:35アヤハレークサイドホテル ■宿泊先:アヤハレークサイドホテル 大津市におの浜3-2-25
3	9/12 (木)	アヤハレークサイドホテル9:00 ■■■■■ 9:30草津宿街道交流館・草津宿本陣・天井川(旧草津川)11:00 ■■■■■ 11:10十里11:30 ■■■■■ 11:40琵琶湖博物館(昼食時間込)13:35 ■■■■■ 13:55洲本バス停・北公民館前(BTS) ■■■■■ 14:25市営小幡観光駐車場 ----- 市立郷土資料館・歴史民俗資料館・旧伴家住宅・旧西川家住宅・八幡山ロープウェー ----- 駐車場16:40 ■■■■■[湖岸道路・琵琶湖大橋]■■■■■ 17:10道の駅びわ湖大橋米プラザ17:20 ■■■■■ 18:23京都駅 ■解散…18:25 京都駅前八条通

図1 巡検の行程表

1日目、まずは京都駅に集合した後、駅ビル屋上へ移動し、高さ約60mから巡検先となる京都盆地の地形や景観を確認しました（写真1）。その後、京都の街並みを見学しました。そこでは、裏通りを中心に残る京町屋と再開発の中で中高層のオフィスビルや集合住宅が混在する都市景観を見学しました。さらに、錦市場から先斗町、高瀬川沿いを歩きながら、京の伝統野菜、趣ある歓楽街、かつての舟運で活用された高瀬川の河岸の跡地を見学しました。

志ば漬・千枚漬・すぐきが京都府食品産業協会から「京ブランド食品」の認定を受けている1901（明治34）年創業 土井志ば漬本舗（京都府左京区大原）での工場見学はひとつの見所だったと思います。普段食べている



写真1. 京都の駅ビルから京都盆地を概観する参加者



写真2. 土井志ば漬本舗の工場見学

弁当や定食などに付いていて全国各地で“柴漬け”という名で売られている茄子の漬け物のうち約80%が調味料を混ぜあわせて、2～3日漬けて作られた「促成漬物」と言われています。一方で“志ば漬”は茄子が総量で約1トン、本数にして約8,500本入る木樽にちりめん赤紫蘇と塩を一緒に約1か月間漬け込みます(写真2)。この間に大原の自然がもつ独特の乳酸菌で乳酸発酵させ、独特の味わいと鮮やかな紫色を醸し出しています。また、ちりめん赤紫蘇についても土井志ば漬本舗で栽培しているものを使用し、昔ながらの製法を守り続けこだわっているそうです。



写真3. 琵琶湖疎水記念館前での集合写真



写真4. 近江八幡の街並みを見学する参加者

2日目は、琵琶湖疎水記念館(写真3)とインクライン、伏見の三栖閘門資料館や伏見港、巨椋池、3日目は、草津宿(草津宿街道交流館、本陣)、天井川である旧草津川、琵琶湖博物館、近江八幡の歴史的街並み(写真4)などをそれぞれ見学しました。3日間を通して、私たちは地域の資源である水を、それぞれの地域住民や企業がどのように活用、保全しているのかを学びました。

参加人数は多かったです。大きなトラブルもなく、先生方が説明してくださっている時もしっかり聞いている学生が多く、新しい知識を得られたと思います。また、普段あまり無い縦(学年を超えた学生)の交流ができたと思います。当日は天候にも恵まれ、参加者の協力で順調に進めることができ、無事巡検を終了することができました。事前・巡検中と幾度も適切なアドバイスをくださった岡島先生・宮地先生、貸切バスの三島・灰川両ドライバーに感謝したいと思います。ありがとうございました。

最後になりますが、巡検の数日後には台風18号の影響により、巡検中バスで通行した道路が冠水したり、一部地域では床上・床下浸水等の被害を受けたりしたようです。被害を受けられた方に心よりお見舞いを申し上げます。

国土舘大学地理学会編集部 西本 修司

## 【2013 年度地理実習の記録】

地理学野外実習 A（1 年生対象）：5 月 15 日（水）～5 月 16 日（木）実施

◎野口・内田・岡島・磯谷・加藤・宮地

実 施 地：川崎市麻生区黒川地区

参加学生数：85 名（男子 73 名，女子 12 名）

テ ー マ：丘陵地の自然環境と人間生活 ―映画「ラストサムライ」の間違ひを読み解く―

目 的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い，地形と土地利用の関係，都市化・宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて，地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課 題：図表を含めて 400 字詰め原稿 10 枚以上相当のレポート。



写真 1 黒川地区にて土地利用等の調査中  
多摩丘陵の谷戸を歩く学生たち



写真 2 チェックポイントの汁守神社で  
岡島先生による説明

地理学野外実習 B（2 年生対象）：10 月 5 日（水）～10 月 6 日（木）実施

◎野口

実 施 地：長野県霧ヶ峰高原

参加学生数：9 名（男子 8 名，女子 1 名）

テ ー マ：霧ヶ峰（1,925m）高原を例に，本州亜高山帯における自然環境を理解する

内 容：1) 霧ヶ峰高原の気候学的位置づけと生態系  
「風と地形→積雪と凍結融解→植生分布」の関係を学ぶ。

2) 霧ヶ峰と人的関わり（縄文時代から今日まで）  
黒曜石の採取（縄文時代），狩場（鎌倉時代），  
牧草の採草地（江戸時代以降），スキー場，警察  
犬訓練，ハイキング，別荘としての利用。

課 題：次の点についてレポートにまとめる。

- 1) 霧ヶ峰山岳測候所のデータを使い，風向の出現頻度分布図を作成する。
- 2) 2 日目の観測ルートについて，地形断面図を作成する。
- 3) 1) 2) を踏まえて，配布文献，地理実習資料，現地での説明を基に，霧ヶ峰の植生分布に影響を与える地形・気候・人間活動などの役割を説明せよ。



野口班：霧ヶ峰山頂にて

◎内田

実施地：栃木県那須塩原市塩原温泉郷，埼玉県久喜市鷲宮地区

参加学生数：14名（男子13名，女子1名）

テーマ：観光調査と観光地に与えられた意味の解説

内容：1) 関東の温泉観光地の中では比較的古い歴史をもつ塩原温泉郷において，宿泊施設の分布や集客圏を現地で調査するとともに，その景観やイメージが観光資源としてどのように利用されているのかについて，人文主義地理学的手法を用いて考察する。

2) アニメ『らき☆すた』の舞台として2008年頃から多くの観光客（巡礼者）を集める鷲宮神社とその周囲の商店街を，コンテンツ・ツーリズムの事例として見学する。

課題：レポート2本：「塩原温泉におけるナンバープレート調査の結果とその考察」と「観光地の記号としての『塩原』あるいは『那須』の意味」



内田班：門前温泉にある巨大足湯「湯っ歩の里」にて

◎岡島

実施地：神奈川県小田原市・箱根町

参加学生数：参加学生数：11名（男子11名）

テーマ：近世城下町小田原の近現代における変遷

内容：小田原市街地における町並み調査，旧東海道・箱根関所・中世小田原総構え遺構等の見学。

課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。なお夏休みに事前学習を行っている。



岡島班：箱根の旧東海道を歩く

◎磯谷

実施地：長野県蓼科方面

参加学生数：11名（男子10名，女子1名）

テーマ：山地帯～亜高山帯の植生

内容：茅野市内から縞枯山にかけての地域でみられる植生について，組成・構造・動態・立地などの視点から調査した。

課題：指示された項目にしたがって，この地域の植生について図表を含めてA4版20枚程度のレポートにまとめる。



磯谷班：コナラ二次林でスケッチ

◎加藤

実施地：東京都品川区

参加学生数：8名（男子6名，女子2名）

テーマ：品川区における「工場跡地」の利用—品川の地誌，とくに産業構造転換と地域変化について—

内容：品川区内に15年前（1995年初）に立地していた工場（30人以上）の「その後」を調べる。現存する工場とその特徴（業種・立地の特徴など），跡地利用の状況（転換状況・土地所有など）やその特徴（業種・立地の特徴など）を調査し，都市の土地利用変化について考察する。それを通じて，経済地理学的な見方・考え方・調査法の基礎を学ぶ。

課題：調査結果に関する図を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする。



加藤班：シンクタワー前にて班行動を前に作戦会議

◎宮地

実施地：群馬県川場村

参加学生数：11名（男子8名，女子3名）

テーマ：農村における地域資源を活用した特産品づくり

内容：農村振興策の一つとして位置づけられる特産品開発の実態を調査した。とくに，近年の川場村で取組まれているリンゴやブルーベリーなどの果実を使った特産品開発（ジュース、ドレッシング、菓子類）の実態を，村役場，農業生産者，加工品製造業者，地元の直売店等でヒアリング調査した。

課題：現地での調査結果を基に，図表を含めA4版12枚以上のレポートにまとめる。



宮地班：農産物加工場での聞き取り

地理学野外実習C（3年生対象）：10月22日（火）～25日（金）実施

◎野口

実施地：新潟県新潟市と長岡市周辺

参加学生数：14名（男子8名，女子6名）

テーマ：①新潟地方気象台の役割について，②新潟県の気候環境について

内容：1) 新潟市における気候要素の諸特性について  
2) 新潟地方気象台の役割について  
3) 長岡市のヒートアイランド現象について  
4) 長岡市の気温分布に与える信濃川の影響について  
5) 長岡のアメダスデータにみられる南風の特徴について

課題：新潟（地方気象台）の永年データの分析，『卒業論文の手引き』を参考に，各自のテーマによるレポートの提出。



野口班：新潟地方気象台の見学

◎内田

実施地：大阪市およびその周辺地域

参加学生数：16名（男子11名，女子5名）

テーマ：学生各自でテーマを設定し，現地調査を行う。

内容：滋賀県の3都市におけるイメージとその基本的次元，大阪市内の商店街における屋外広告物の色彩について，関西圏主要都市におけるMICEの実態と展望，大型ショッピング施設における利用者の行動，奈良公園周辺における外国語表記について，外国人旅行者から見た日本旅行，おごと温泉における地域活性化，滋賀県東部の観光地・観光客について，近畿地方住民における海岸リゾート地の選択要因，温泉街の観光地化とそれに伴う温泉文化について，宇治市の観光客の余暇行動，出町枳形商店街の聖地巡礼，重伝建地区における観光客の行動，大学生の京都市に対するイメージ，大阪市における「キタ」と「ミナミ」の範囲と境界。

課題：各自設定したテーマにしたがって，現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田班：曾根崎心中ゆかりの「お初天神」で

◎岡島

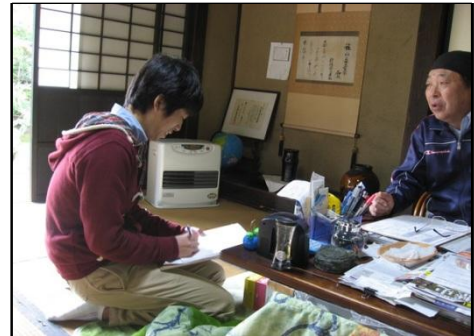
実施地：青森市および周辺地域

参加学生数：8名（男子8名）

テーマ：主として歴史地理学・交通地理学に関する地域調査

内容例：城下町弘前の町並の変遷—仲町を中心に—、歴史的町並み保存地区における住民意識—青森県弘前市仲町を事例に—、黒石市の歴史的建造物の保存と観光地化へ向けたこれからの取り組み、弘前市における景観計画、青森県青森市における東北新幹線新青森駅開業に伴った地域の変遷と社会的変化について、三本木原における稲生川用水開鑿事業、地方公共交通の変遷—弘南鉄道を事例に—、青森県における神社の分布について。

課題：各自のテーマに従ってレポート作成。



岡島班：弘前仲町重伝建地区の  
公開住宅でききとり調査

◎磯谷

実施地：鳥取県大山山麓付近（米子市とその周辺地域）

参加学生数：10名（男子6名，女子4名）

テーマ：鳥取県大山山麓の自然地理

内容例：鳥取県大山山麓でみられる動植物の生態地理や火山地形について、各自が事前にテーマを設定して調査した。具体的に選ばれたテーマは、二次林や先駆低木林の分布と種構成、河辺草原の分布と組成、中～大型哺乳動物の生態地理と農作物被害、水鳥の生態地理、貝類群集の分布と組成、植生による土壌動物の違い、および弥山火砕流堆積面の分布と構成物質であった。

課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートにまとめる。



磯谷班：雨の中，土壌・地質断面を観察

◎加藤

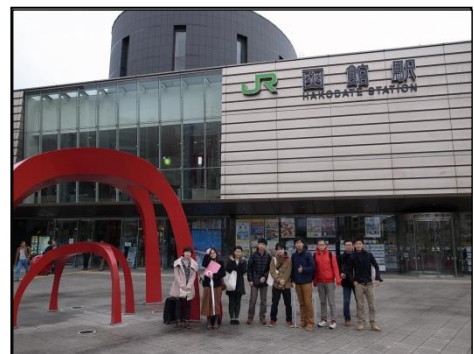
実施地：函館市とその周辺地域

参加学生数：8名（男子6名，女子2名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。

内容例：中心商店街の変容（本町地区、駅前・大門地区）、イカの水揚げと水産加工業の展開、駐車場の立地と特徴

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき、レポートをまとめる。



加藤班：函館駅前・初日集合写真

◎宮地

実施地：北海道帯広市とその周辺地域

参加学生数：6名（男子5名，女子1名）

テーマ：班ごとのテーマに基づいた地域調査を行う。

内容例：①農業班，②特産品開発班（パン，お菓子）  
班ごとにそれぞれの研究目的に沿って現地調査を行った。

課題：『卒業論文の手引き』にもとづき、A4版25枚以上（図表含む）のレポートにまとめる。



宮地班：十勝の特産品を前に  
集合写真



## 【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して可否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジюмеを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の可否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2014年3月中旬・東京学芸大学）で発表してもらうこととなります。発表者は、2月7日中に決定し、すぐに通知します。

日 時：2014年2月5日（水）、6日（木）、7日（金） いずれも9:30～  
場 所：世田谷校舎 10号館2階 10204教室（階段教室）

### 注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。

※ 発表に際しては、かならず以下の要領でレジюмеを用意しておくこと。レジюмеはワープロによって作成することが望ましい。

1. レジюмеは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジюмеの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピー：図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーをするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと）。
3. レジюмеは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。

※ 発表では、PCプロジェクター等も使用できる。使用希望者は事前に専攻主任（内田）またはゼミ担当教員に申し出ること。なお、PCプロジェクターを使う場合、原則としてノートPCは各自で用意すること。また、ディスプレイの設定等が必要なため、PCのマニュアルをよく読んで設定方法を確認し、発表までに動作確認等しておくこと。PCプロジェクター使用の場合、接続替え等に時間を取られすぎないように、前後の発表の人の使用を確認し、機器を一時的に借りる（同じPCを使用する）などの工夫も心掛けること。

※ 地域調査士の資格を希望する者は、各自で事前に申請用紙を日本地理学会HP（<http://ajg-certi.jp/gr/become/s/download.html>）よりダウンロード・印刷し、その1枚目（申請書1）に必要な事項（顔写真も）をすべて記入して用意しておくこと。必要な事項を記入した申請書1を口頭試験日程期間中に提出してもらい、副査が記名・押印したのち一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。

※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、全員出席し、大半の発表を聞くようにすること。1, 2年生もできるかぎり1日以上出席すること。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、できる限り多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏名	題目	主査	副査	GIS	地域
<b>第1日目：2月5日（水）</b>						
<b>9：30～12：05 &lt;進行：岡島&gt;</b>						
2	樋渡 巧一	神奈川県横浜市におけるサギ類の採餌行動とその環境条件	磯谷	野口		
3	石井 宏樹	SS 過疎地における石油製品の供給体制 －福島県中島村と檜枝岐村を例に－	加藤	宮地		○
4	天野 直杜	地方鉄道の現状と課題 ー秋田内陸縦貫鉄道を事例にー	岡島	内田		○
5	丸田 洋樹	千葉県北西部における光化学オキシダント濃度と海風との関係	野口	磯谷		○
7	宗 旭峰	東京におけるヒートアイランド現象 －冬・春・夏・秋の比較－	野口	宮地		
8	時光	冬期における日本海側と太平洋側の気候現象の違いについて	野口	内田		
11	前田 政彦	筑波山におけるブナ林の分布と林分構造	磯谷	野口		
12	増永 悠希	滋賀県における高齢者福祉施設の立地展開	加藤	宮地		○
<b>12：50～15：25 &lt;進行：内田&gt;</b>						
14	添野 真広	栃木県日光市におけるイノシシの分布と被害 －とくに積雪深に着目して－	磯谷	宮地	○	○
17	有賀 基喜	群馬県吾妻川流域における河辺植生の組成と分布特性 －とくにキャンプ場における人為的影響に着目して－	磯谷	野口	○	○
19	高橋 幸平	高齢者を対象とした犯罪発生率と地域性	内田	加藤	○	○
23	角田 淳	神奈川県横浜市の陣ヶ下溪谷公園における クールアイランド現象について	野口	磯谷		○
24	青木みづき	歴史都市鎌倉の現状と保存	岡島	内田		
25	守谷 友宏	神奈川県海老名市における路傍雑草・踏跡群落の分布と 組成について－畑作地域と水田地域の違いに着目して－	磯谷	野口		
28	任 柯	千代田区におけるコンビニエンスストアの取扱商品特徴と 非24時間CVSの特徴	加藤	岡島		
29	鎌田 祥嗣	災害を受けた観光地における観光入り込み客数の変化と動態 －北海道洞爺湖町を事例として－	加藤	宮地		
<b>15：35～17：30 &lt;進行：岡島&gt;</b>						
30	本田 祐也	三浦半島大楠山における管理放棄された二次林の分布と林分構造	磯谷	野口		
33	後野 寛子	医療過疎地域 ー秩父二次医療圏を事例にー	宮地	加藤		
36	渡邊 智	友好指定都市間交流における展開とその特徴 －神奈川県平塚市と岩手県花巻市を事例にー	宮地	内田		
37	榊 満孝	観光パンフレットを用いた場所イメージの定量的分析 －静岡県東部・伊豆地区を事例にー	内田	磯谷		○
42	上田 将輝	ライブカメラ分布の地域性について	内田	宮地		
43	市野川昌也	韓国における医療ツーリズム ー大邱広域市を事例にしてー	内田	加藤		

第2日目：2月6日（木）

9:30～10:30 <進行：磯谷>

44	影山沙希子	神奈川県葉山町における小規模経営農家の存続	宮地	内田		
45	篠原 千拓	御柱祭における近年の変容について －諏訪大社と松本市内の御柱祭を例に－	内田	岡島		○
48	高橋 由佑	地方ローカル鉄道活性化の事例と課題 －アルピコ交通上高地線を事例として－	岡島	加藤		○

10:50～12:10 <進行：磯谷>

50	鈴木 慶秀	荒川河川敷における好樹液性昆虫の分布特性 －とくにコガネムシ類に着目して－	磯谷	野口		
53	田原 直人	藤沢市長後商店街における現状と衰退の要因	加藤	岡島		
54	正田 一真	群馬県片品村における農山村交流事業の意義と課題	宮地	加藤	○	○
57	岩間 太一	さいたま市における学習塾の立地展開	加藤	内田	○	○

12:50～15:25 <進行：宮地>

59	茂木 卓也	台東区における宿泊施設の立地展開	加藤	岡島		
61	飯塚 智大	リニモ開通による沿線地域への影響	加藤	岡島		○
63	米津 裕太	外来魚に対応したハゼ科魚類個体群の分布とその生息環境 －沖縄島名護市の小河川を事例として－	磯谷	内田		
64	魏 執璽	東京首都圏における都市地理学の視点で見た駅の階層性	加藤	岡島		
68	井上 紗綾	多摩川支流川口川の河辺植生	磯谷	野口		
71	小菅 麻生	果樹産地における二極化の現状 －polarization 概念を用いて－	宮地	加藤	○	○
73	齋藤 優	2010年東京の夏季における気温の特徴について	野口	磯谷	○	○
74	薙澤 楓花	近代における都市の歴史的変遷 －板橋 平尾宿を事例に－	岡島	内田	○	○

15:35～17:30 <進行：野口>

75	浪床 祐貴	筑豊地方の鉄道網の形成とその変遷	岡島	加藤	○	○
77	幸田 静香	近代の産業鉄道の計画と敷設 －和歌山県有田軽便鉄道・野上軽便鉄道の事例を中心に－	岡島	加藤	○	○
78	原田 敏幸	観光ボランティアガイドのやりがいと活動継続の関係 －広島市呉市のガイド組織について－	内田	宮地		○
82	今田 智大	伊勢佐木モールの店舗のバリアフリーの度合についての考察	内田	岡島		○
83	何 大明	新宿駅周辺の牛井チェーン・なか卯の立地とその特徴	加藤	内田		
84	高橋理奈子	脱過疎実現の要因分析	宮地	岡島		○

第3日目：2月7日（金）

9:30～11:45 <進行：加藤>

85	江頭 与基	東京の都心部における降水の特徴	野口	磯谷		
96	澁谷 朋彦	神奈川県における農産物直売所の経営実態	宮地	内田		
105	梅田彩緒里	神奈川県箱根地域における人工林に侵入した広葉樹の樹種構成 －隣接群落との関係に着目して－	磯谷	野口		

106	鶴田 雄大	「西の渋谷」としての町田のイメージ	内田 岡島		
108	中村 友哉	都心周辺地域における土地利用の変遷と建物の中高層化 －豊島区高田地区を事例として－	岡島 宮地		
113	弓田 大暉	青森県弘前市におけるリンゴ農業の実態	宮地 岡島		
119	粕谷 慶一	静岡県牧ノ原台地における茶栽培と気候の関係について	野口 磯谷	○	○

**12:45～15:00 <進行:加藤>**

9	ユ 江	中国乾燥地域における湖の縮小について －中国陝西省紅の湖の事例－	佐々木 野口		○
41	栗山 脩	新潟県胎内川中流域における段丘形成について －低位段丘に着目して－	佐々木 野口		
72	長田 拓実	河川の水難事故の危険性と認識について －大井川を例に－	佐々木 宮地		○
76	岩沢 公貴	行政と住民の防災対策における現状と課題	佐々木 磯谷	○	○
86	川村 尚子	スキー場開発が地域に与える影響 －新潟県湯沢町を事例に－	佐々木 宮地		○
112	植木 翔平	伊豆半島西岸における砂礫嘴の発達と地形特性 －静岡県御浜岬を例に－	佐々木 磯谷		○
120	田中 裕也	東日本大震災における液状化被害地の地質状況の比較について	佐々木 野口		

注. 凡例は、次の通り. GIS: GIS 学術士取得希望者, 地域: 地域調査士取得希望者



過去の卒業論文口頭試験の様子 (国士舘大学地理学教室のホームページより転載)

**日本地理学会春季学術大会が国士舘大学を会場に開催されます！**

来る 2014 年 3 月 27 日, 28 日に, 国士舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎を会場に, 日本地理学会春季学術大会が開催されます. 日本地理学会は, 日本における地理学関係の学会のなかでも最も大規模な学会であり, 会員数は約 3,000 人に及びます. 恐らく本大会には, 1,000 人前後の会員が参加すると思われます. この大会の開催にあたり, 会場や受付でアルバイトをお願いする学生もいますが, 自身の卒業論文の作成へ向けて参考になる発表が多数あると思います. 学生の皆さんが論文で読んだことのある先生もご来校されるかもしれません. 全国の地理学の先生方や大学院生が集まる貴重な機会でもありますので, 自身の興味ある発表だけでも聞くことをお奨めします. なお, 大会日程, 発表プログラム等については, 日本地理学会のホームページを参照してください (<http://www.ajg.or.jp/>). プログラムは, 2 月下旬ころ公開される予定です.

## 【国士舘大学地理学会費の納入について】

下記に掲げる者は、国士舘大学地理学会費（4年分・12,000円）が未納となっていますので、至急支払ってください。地理学教室では4年分の会費を納めていない学生については、卒業を認めておりません。いずれ払うこととなりますので、早めに納入することを勧めます。会費未納者は、必ず1月末までに郵便振替で会費を納入すること。期日内に納入しなかった者については、保護者宛てに督促状を送ります。

振替用紙は郵便局にありますので、「口座番号：00150-7-161762，加入者名：国士舘大学地理学会」および通信欄に自分の学年と氏名を記入のうえ、所定の金額を窓口またはATMで振り込んでください（ATMでの振込のほうが手数料は安くなります）。

**重要事項！必ず読むこと！**

**研究室，図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前  
(2月初旬)までに必ず返却して下さい。**

**4年生で書籍・備品の未返却の者は，卒業資格を満たしていない  
とみなします。**